

講義名	日本語資格試験講座 【N2対策】(2年生以上)			授業形態	
担当教員	西馬 薫	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

文法・読解を中心に授業を行う。随時、文字語彙の練習問題にも取り組む。

到達目標

- ・課題に応じた読解のし方を身につけることができる。
- ・応用力を支えるしっかりとした文法力を身につけることができる。
- ・自分自身の弱点を知り、さらしレベルアップを図ることができる。

提出課題

授業内に指示する

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・毎回課題の解説をするときに、授業内での質疑応答により理解を深める
- ・小テスト、中間テストのフィードバックを行う。

評価の基準

期末試験（30％）、中間試験（30％）、小テスト（20％）、授業への参加度（20％）

履修にあたっての注意・助言他

- ・課題を行ったうえで、授業に出ること。
- ・30分以上の遅刻5回で1回欠席とする。
- ・欠席は毎回とる（5回以上欠席した場合は、単位を認定することができない）

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.新完全マスター文法N2.	友松悦子 , 福島佐知 , 中村かおり	スリーエーネットワー	1320	9784883195657
.ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙.	星野恵子(監修)	凡人社	1430	9784896894783
.実力アップ!日本語能力試験N2読む.	松本節子	UNI COM	2310	978-489689488

その他

授業計画

オリエンテーション、語彙・文法
 [予習内容]シラバスから当日のテーマを確認し、既知知識を振り返り、弱点を確認した上で講義に出席すること（90分）
 [復習内容]指示された課題に取り組むこと、また授業内で解説した項目を確認し再度問題を解くことで定着を図ること（150分）

文法・読解
 [予習内容]学習する文法項目について、意味用法を理解しておくこと（120分）
 [復習内容]授業内で解説した項目を確認し再度問題を解く、読解で学んだ語彙を覚えるなどして定着を図ること（120分）

文法・読解
 [予習内容]学習する文法項目について、意味用法を理解しておくこと（90分）
 [復習内容]指示された課題に取り組むこと、また授業内で解説した項目を確認し再度問題を解く、読解で学んだ語彙を覚えるなどして定着を図ること（150分）

文法・読解、語彙1(小テスト)
 [予習内容]学習する文法項目について意味用法を理解しておくこと、また語彙の小テストに備え意味やコロケーションを確認しておくこと（120分）
 [復習内容]授業内で解説した項目を確認し再度問題を解く、読解で学んだ語彙を覚えるなどして定着を図ること（120分）

文法・読解
 [予習内容]学習する文法項目について意味用法を理解しておくこと（90分）
 [復習内容]授業内で解説した項目を確認し再度問題を解く、読解で学んだ語彙を覚えるなどして定着を図ること（150分）

文法・読解、語彙2(小テスト)
 [予習内容]学習する文法項目について意味用法を理解しておくこと、また語彙の小テストに備え意味やコロケーションを確認しておくこと（120分）
 [復習内容]授業内で解説した項目を確認し再度問題を解く、読解で学んだ語彙を覚えるなどして定着を図ること（120分）

文法・読解
 [予習内容]学習する文法項目について、意味用法を理解しておくこと（90分）
 [復習内容]授業内で解説した項目を確認し再度問題を解く、読解で学んだ語彙を覚えるなどして定着を図ること（150分）

中間テスト（今までの学習範囲、含む語彙1-3）
 [予習内容]これまでに学習した内容について、場面に即した正しい使い方ができるよう理解しておくこと（200分）
 [復習内容]指示された課題に取り組むこと（40分）

中間テストフィードバック
 [予習内容]前回受けたテスト内容についてどのくらい理解できているか予測を立てておくこと（30分）
 [復習内容]自身の弱点を認識しつつ、再度問題を解くことで定着を図ること、また指示された課題に取り組むこと（210分）

文法・読解
 [予習内容]学習する文法項目について、意味用法を理解しておくこと（90分）
 [復習内容]授業内で解説した項目を確認し再度問題を解く、読解で学んだ語彙を覚えるなどして定着を図ること（150分）

文法・読解、語彙4(小テスト)
 [予習内容]学習する文法項目について、意味用法を理解しておくこと、また語彙の小テストに備え意味やコロケーションを確認しておくこと（120分）
 [復習内容]授業内で解説した項目を確認し再度問題を解く、読解で学んだ語彙を覚えるなどして定着を図ること（120分）

文法・読解、語彙5(小テスト)
 [予習内容]学習する文法項目について、意味用法を理解しておくこと、また語彙の小テストに備え意味やコロケーションを確認しておくこと（120分）
 [復習内容]授業内で解説した項目を確認し再度問題を解く、読解で学んだ語彙を覚えるなどして定着を図ること（120分）

文法・読解
 [予習内容]学習する文法項目について、意味用法を理解しておくこと（90分）
 [復習内容]指示された課題に取り組むこと、また授業内で解説した項目を確認し再度問題を解く、読解で学んだ語彙を覚えるなどして定着を図ること（150分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	<input type="checkbox"/>	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、意欲と能力を持ったビジネスパーソンに必要な日本語力を身につけ、資格を取得することによって、物事に自ら進んで取り組むことができる人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業内の質疑応答を通して理解を深める

実務経験の有無及び活用

備考